

バナナは牛にどんなメリットをもたらす？

Banana lectin : バナナに含まれる蛋白質のひとつ

バナナレクチンはマウスでT細胞の強力な
分裂誘発因子であることが分かっています。

つまり**T細胞の数が増える**、ということです。T細胞とは免疫細胞の
ひとつで体の中に悪いやつ（病原体など）がないか見回り、見
つけた場合はやっつけてくれる、いわば警察官のようなものです。

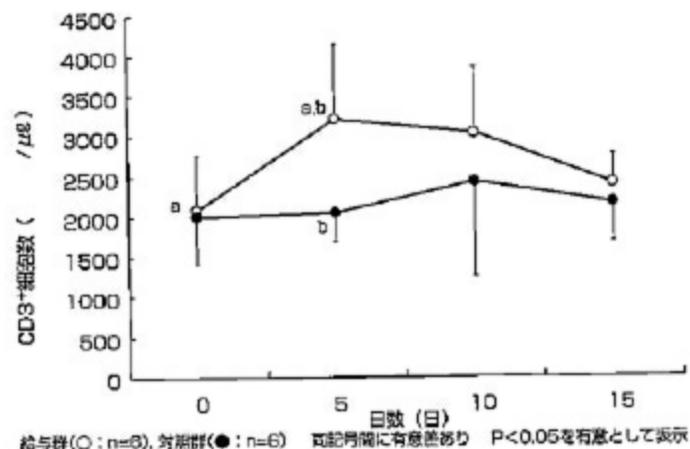
そのほかにも、バナナにはマウスにおいて
白血球の増加や活性化を起こす成分
が多く含まれていることも分かっています。

白血球も体を防御する免疫細胞のひとつです



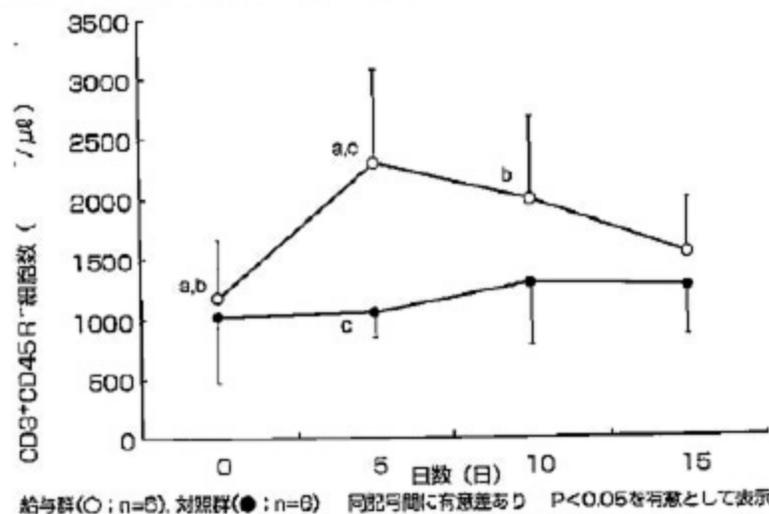
バナナは牛にどんなメリットをもたらす？

実際に交雑種子牛にて給与し、
血液の免疫細胞数を測定すると...



【図-3】 給与群と対照群におけるCD3⁺細胞数の推移

子牛においてもバナナの給与によって実際にT細胞の数が増えていることが分かりました。=体の中をパトロールする警察官の数が増える=免疫力↑↑



【図-4】 給与群と対照群におけるCD3⁺CD45R⁻細胞数の推移

さらにT細胞の中でも特に活性型でサイトカイン産生能が高いCD3 + CD45R - T細胞が増えていることが分かりました。

=特にハイスペックな警察官がたくさん増えていたということです

バナナは牛にどんなメリットをもたらす？

実際に交雑種子牛にて給与し
疾病の罹患率や治療期間を比較すると・・・

	給与群	対照群
供試牛 (頭)	32	32
発症頭数 (頭)	6	14
下痢 (頭)	6	12
下痢と肺炎 (頭)	0	2
発症率 (%)	18.8	43.8
治療期間 (日)	給与群	対照群
1日 (頭)	5	3
2日 (頭)	1	5
3日 (頭)	0	4
12日 (頭)	0	2

疾病の発症率

給与群	対照群
18.8%	43.8%



子牛に対するバナナ給与は細胞性免疫の成熟を促進し、それにより下痢や肺炎の発症率や平均治療日数が減少した。
→バナナには疾病に対する予防効果があると考えられます。

臨床獣医2005年2月バナナ給与による子牛の免疫活性化作用と疾病予防効果
家畜診療2004年6月F1子牛におけるバナナ給与による免疫増強効果と罹患防止効果